

INTERIM BUSINESS REPORT 2009

第9期 第2四半期(中間)報告書

2008.4.1 » 2008.9.30



TOP MESSAGE

株主・投資家の皆さまへ

株主・投資家の皆さまには平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、このたび第9期(2009年3月期)の中間決算がまとまりましたので報告いたします。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発する世界的な金融市場の混乱、米国経済の景気減速兆候及び株価の大幅な下落等の影響から、企業収益の減少による設備投資が弱含みとなり、また雇用情勢にも鈍化がみられる等先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、モバイル業界におきましては、携帯電話契約数が、当第2四半期連結会計期間末には前連結会計年度末比2.1%増の1億483万台となりました。また、第3世代移動通信サービスである3G対応の携帯電話契約数は、前連結会計年度末比6.4%増の9,365万台に達し、堅調な伸びを見せております(携帯電話契約数は社団法人電気通信事業者協会調べ)。株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社及びソフトバンクモバイル株式会社の主要3キャリアが新規に投入する機種多くには、当社グループが主力としているデコメーション(注1)を利用するための機能が標準で搭載されており、当社グループのサービスを利用できるユーザー数は増加しております。

一方で、デコメーションを含むいわゆるリッチコンテンツの普及、有料コンテンツと無料コンテンツの二極化等、モバイルコンテンツ業界の市場構造自体が急激に変化し、モバイルコンテンツを提供する企業間の競争は激化しております。また、モバイルを活用したインターネット接続が急速に普及し、生活に欠かすことのできない重要な社会インフラとなったことで、携帯電話の高機能化による新技術への対応スピードを求められる等、当社グループを取り巻く環境の変化は続いております。

このような環境において、当社グループでは基幹事業のデコメーションコンテンツの充実のもと、ライセンスとして海外へのHTML素材の提供、新たな収益機会の創出を目指したM&A等、総合コミュニケーションプロバイダーとして、「新しいモバイルコミュニケーション・ツールによる新しいライフスタイルの創造」をビジネスドメインとした展開を進めてまいりました。その一環として、当社グループが運営する、ケータイギフトコンテンツ「お気持ち.jp」の機能増強等を目的として、平成20年7月29日に株式会社日本インターシステムの株式80.0%を取得し連結子会社といたしました。また、平成20年8月29日には、中国国内にてSMS(注2)サービスを提供しているMobile Extreme Technology (Beijing) Co., Ltd (MOJI) との戦略的業務提携契約を締結いたしました。さらに、平成20年10月には、「きせかえ★コレクション」をファッション等のテーマに特化したコンテンツへのリニューアルを行い、新規ユーザーの獲得を目指しております。

その結果として、当社のデコメーションコンテンツ事業単体の売上は堅調に推移いたしました。株式会社日本インターシステムの株式取得に伴う諸費用、及び株式会社フィール・ジー(完全子会社)の先行投資に伴う費用等の発生がございました。

事業部門別では、モバイルコンテンツ事業におきまして、積極的かつ効果的な広告宣伝、コンテンツのリニューアル等を行い、ユーザーの獲得を目指しながら収益性を高め、成長性の維持に取り組みました。またユーザーが継続的に当社グループのコンテンツを利用したいと感じるような魅力的なライセンスの確保を進めてきたことで業績は堅調に推移いたしました。さらに、当社グループが提供するコンテンツの素材制作を担う独自のクリエイターネットワークサイト「CREPOS(クリボス)」の登録クリエイター数は、当第2四半期連結会計期間末において約4,000名(前

連結会計年度末は約3,200名)、当社グループにおける総素材数は約108,000点(前連結会計年度末は約86,000点)となっており、高品質かつ人気の高い素材を安定的に確保し、多様化するユーザーニーズに対応してまいりました。今後、デコメーション市場の拡大、モバイルでのFlash®(注3)活用による新サービス等、競合企業との競争が激化する中で、他社に先駆けた新たなコンテンツの投入、既存コンテンツのリニューアル、新技術への対応や優秀なクリエイターを確保することによる質の高いコンテンツ提供等に努め、更なる会員獲得を図ってまいります。

モバイルインベーション事業におきましては、前連結会計年度からの継続した受託売上を中心に事業を展開しております。当第2四半期連結会計期間におきましては、収益構造の見直しを図ると共に、モバイルコンテンツ事業で培ったリソースを有効に活かすべくFlash®のモバイルコンテンツ制作体制の活用、CREPOS登録クリエイターの活用等により、受託ビジネスを拡大してまいりました。今後は、受託ビジネスの拡大を図るべく、モバイルコンテンツ事業で培ったノウハウ、技術力及び顧客基盤等を有効活用しながら展開してまいります。

Eコマース事業におきましては、平成20年6月にケータイギフトコンテンツ「お気持ち.jp」をグランドオープンした後、事業基盤確立のための会員獲得施策等を行いました。また、Eコマース事業強化等のため、平成20年7月29日には株式会社日本インターシステムの株式80.0%を取得し子会社化を図り、新たな収益基盤確保のために先行投資等を行いながら事業規模拡大を目指して展開してまいりました。

今後は、モバイルコンテンツ事業及びモバイルインベーション事業で培ったノウハウ、技術力及び顧客基盤等を有効活用しながら早期に黒字化を目指し、さらに子会社化した株式会社日本インターシステムとのシナジー効果により当社グループの新たな収益源となるよう、事業拡大を図ってまいります。

今後とも、株主・投資家の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



永田 万里子

**株式会社フィール・ジーにて、ギフトサービス
モバイルサイト「お気持ち.jp」をグランドオープン!**

～携帯のメールアドレスだけで「デコメーション」と一緒に
「ギフト」が贈れる新しいギフトのカタチ!!～

株式会社フィール・ジーは、2008年6月20日にケータイギフトサイト「お気持ち.jp」をグランドオープンいたしました。元来「デジタルギフト」であったデコメーションをプロデュースした経験を活かし、デジタルだけではなくリアルなギフトを併せることで更なる「感動」「感謝」を伝えるためのサービスプラットフォームの展開をいたしました。

「お気持ち.jp」は、商品を渡すことで完結するのではなく、ギフトの渡し方、その後の二人の関係性を深めるイベントの始まりをプロデュースするような企画を進めてまいります。



新しく感動を伝えるギフト
モバイルギフトメール

現在、商品ラインナップの充実を図っており、行列スイーツ、インポートアロマ、ベビーギフト等のラインナップも取り揃えております。また、特定の商品をお送りするだけでなく、選べる便利なカタログもご用意しております。

**有名ファッションブランドを起用したデジタルコンテンツを展開
～ドラマカンメディア・ドリームアンドモアと提携～**

2008年10月1日に、当社が運営する株式会社NTTドコモのiモード（注4）メニューサイト「きせかえ★コレクション」をリニューアルオープンいたしました。携帯コンテンツの第一弾として、ファッションブランドに特化したきせかえツール（注4）対応コンテンツを提供してまいります。今回リニューアルした「きせかえ★コレクション」では、おしやれに敏感な女性達に大人気のブランド、rich・DOUBLE STANDARD CLOTHING・snidelなど、ファッションブルな「きせかえツール」を用意し、ブランドに特化したファッションモバイルコンテンツの提供を開始いたしました。また、今後も様々な人気ブランドと提携し、数多くの「きせかえツール」を提供していく予定です。なお、KDDI株式会社・ソフトバンクモバイル株式会社にも順次展開してまいります。



「snidel」



「ROYAL PARTY」

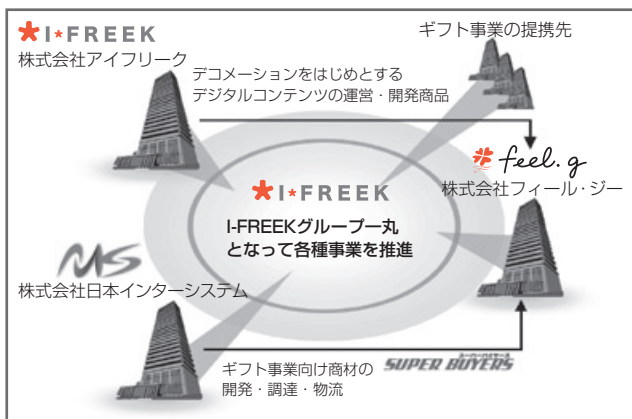


「Spiral Girl」

株式会社日本インターシステムの株式80.0%を取得

～ケータイギフト事業における戦略的パートナーをグループ会社化～

2008年7月29日に、当社は株式会社日本インターシステムの発行済み株式80.0%を取得し、グループ会社として迎え入れました。株式会社日本インターシステムは、Eコマース構築・運営システムのサービス提供、化粧品・健康器具の企画・販売・卸売などにおいて実績を積み重ねてきました。同社をグループに迎え入れたことにより、I-FREEKグループ全体で「心が動くシーンを網羅する」コミュニケーションサービスの提供を推進すべく、既存会員の共有化、ノウハウの共有化等を進めながらビジネス展開を図ってまいります。



海外展開を積極的に推進

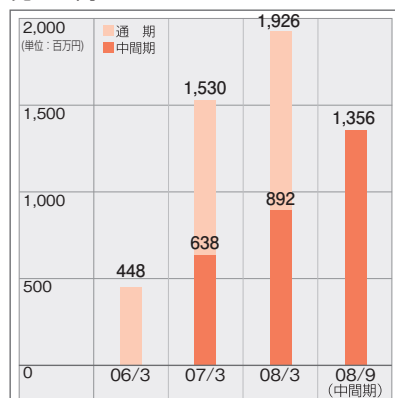
～インド・中国への展開～

2008年6月より、当社はインド共和国のモバイルコンテンツ市場へ向けて、待受画像コンテンツの配信を協力会社と開始いたしました。既にインド国内にて当社の待受画像コンテンツが配信されており、引き続きインド国内での展開を進めてまいります。また、2008年8月には、中国のコンテンツプロバイダーであり、携帯電話向けソリューションデベロッパーであるMobile Extreme Technology (Beijing) Co., Ltd (MOJL) と戦略的業務提携を締結し、既に数多くのデコメーションを提供しております。今後は、広告事業、コンテンツアグリゲーション事業、Eコマース事業にて展開していく予定です。

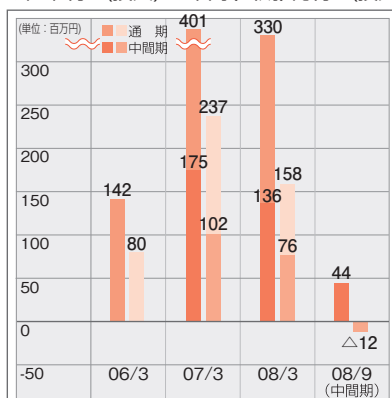
当社は、日本国内だけではなく、日本のケータイが生み出した新たなコミュニケーションの形を世界に広めてまいります。

(注1) 「デコメーション」は、当社グループが提供する、携帯電話向けHTML形式メールサービスの総称です。
 (注2) 「SMS」は、携帯電話同士で短い文字メッセージを送受信できるサービスです。
 (注3) 「Flash」は Adobe System Incorporated の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
 (注4) 「iモード」「きせかえツール」は、株式会社エヌ・ティ・ティドコモの登録商標または商標です。

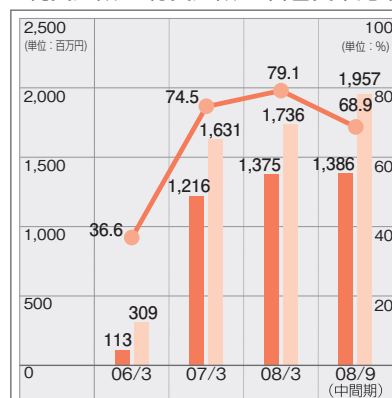
売上高



●経常利益(損失)/●中間(当期)純利益(損失)



●純資産額/●総資産額/●自己資本比率



(注) 2006年3月期の中間期の売上高、経常利益、中間純利益は上場前のため非開示。

中間貸借対照表

(単位: 百万円)

| 科目 | 前中間期 (ご参考) 2007年9月30日現在 | 当中間期 2008年9月30日現在 | 前期 2008年3月31日現在 |
|--------------|----------------------------|----------------------|--------------------|
| 資産の部 | | | |
| 流動資産 | 1,462 | 1,407 | 1,353 |
| 固定資産 | 204 | 550 | 383 |
| 有形固定資産 | 44 | 73 | 74 |
| 無形固定資産 | 78 | 353 | 216 |
| 投資その他の資産 | 81 | 124 | 92 |
| 資産合計 | 1,667 | 1,957 | 1,736 |
| 負債の部 | | | |
| 流動負債 | 343 | 570 | 345 |
| 固定負債 | 30 | 0 | 15 |
| 負債合計 | 374 | 571 | 360 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | | | |
| 資本金 | 457 | 458 | 458 |
| 資本剰余金 | 447 | 448 | 448 |
| 利益剰余金 | 386 | 471 | 467 |
| 自己株式 | — | △28 | — |
| 株主資本合計 | 1,292 | 1,349 | 1,373 |
| 新株予約権 | 1 | 2 | 1 |
| 少数株主持分 | — | 35 | — |
| 純資産合計 | 1,293 | 1,386 | 1,375 |
| 負債純資産合計 | 1,667 | 1,957 | 1,736 |

事業別売上高

(単位: 百万円)

| | 2007年3月期 | 2008年3月期 | 2008年9月期 |
|---------------|----------|----------|----------|
| 売上高合計 | 1,530 | 1,926 | 1,356 |
| モバイルコンテンツ事業 | 1,400 | 1,789 | 904 |
| モバイルインベーション事業 | 129 | 97 | 74 |
| Eコマース事業 | — | 40 | 377 |

*平成20年4月の組織変更により事業部門の名称を変更したことに伴い、事業の種類別セグメントの名称を、従来の「モバイルマーケティング事業」から「モバイルインベーション事業」に変更しております。変更は名称のみであり、これによる事業の種類別セグメント情報の損益に与える影響はありません。

(単位: 点)

| 素材数 | 2007年3月期 | 2008年3月期 | 2008年9月期 |
|-----|----------|----------|----------|
| | 約49,000 | 約86,000 | 約108,000 |

*当社は2008年3月期より連結決算の開示を行っています。連結対象子会社は、2007年12月に設立した株式会社フィール・ジーです。

中間損益計算書

(単位: 百万円)

| 科目 | 前中間期 (ご参考) 2007年4月1日から 2007年9月30日まで | 当中間期 2008年4月1日から 2008年9月30日まで | 前期 (ご参考) 2007年4月1日から 2008年3月31日まで |
|------------|---|-------------------------------------|---|
| 売上高 | 892 | 1,356 | 1,926 |
| 売上原価 | 231 | 593 | 556 |
| 売上総利益 | 661 | 762 | 1,370 |
| 販売費及び一般管理費 | 524 | 701 | 1,039 |
| 営業利益 | 136 | 61 | 330 |
| 営業外収益 | 1 | 1 | 3 |
| 営業外費用 | 0 | 18 | 2 |
| 経常利益 | 136 | 44 | 330 |
| 特別損失 | 2 | 0 | 15 |
| 税引前中間純利益 | 133 | 44 | 314 |
| 法人税等 | 47 | 56 | 183 |
| 少数株主利益 | — | 0 | — |
| 中間(当期)純利益 | 76 | △12 | 158 |

中間キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

| 科目 | 前中間期 (ご参考) 2007年4月1日から 2007年9月30日まで | 当中間期 2008年4月1日から 2008年9月30日まで | 前期 (ご参考) 2007年4月1日から 2008年3月31日まで |
|----------------------|---|-------------------------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 80 | 124 | 98 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △67 | △241 | △328 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 4 | 25 | △1 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 17 | △92 | △232 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 946 | 714 | 946 |
| 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高 | 964 | 621 | 714 |

コンテンツ会員数の推移

(単位: 名)

| 2007年3月期 | 2008年3月期 | 2008年9月期 |
|----------|----------|------------|
| 約657,000 | 約994,000 | 約1,012,000 |

登録クリエイター数の推移

(単位: 名)

| 2007年3月期 | 2008年3月期 | 2008年9月期 |
|----------|----------|----------|
| 約550 | 約3,200 | 約4,000 |

会社情報

2008年9月30日現在

CORPORATE DATA

会社概要

| | |
|------|---|
| 会社名 | 株式会社アイフリーク |
| 設立 | 2000年6月 |
| 本社 | 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名二丁目4番22号 新日本ビル4F Tel: 092-738-3800 Fax: 092-738-3803 |
| 東京支店 | 〒106-0045 東京都港区麻布十番一丁目10番10号 ダヴィンチ・ジュールA 4F Tel: 03-5114-0701 Fax: 03-5114-0702 |
| 従業員数 | 97名(派遣・臨時従業員含む) |
| 資本金 | 458,039千円 |
| 決算期 | 3月 |

役員

| | | |
|-------|----|-------------------|
| 代表取締役 | 永田 | 万里子 |
| 取締役 | 山内 | 征宏 |
| 取締役 | 福原 | 健吾 |
| 取締役 | 橋本 | 裕 |
| 取締役 | 伊藤 | 幸司 |
| 監査役 | 光安 | 直樹 (公認会計士・税理士) |
| 監査役 | 吉原 | 洋 (弁護士) |

沿革

| | | |
|-------|-----|--|
| 2008年 | 10月 | 有名ブランドを起用し、ファッションメディア配信を開始(きせかえツール) |
| | 8月 | 中国のMobile Extreme Technology(Beijing) Co., Ltd(MOJI)と戦略的業務提携 |
| | 7月 | 株式会社日本インターシステムの株式80.0%を取得しグループ会社化 |
| | 6月 | インドCP(ゼロ・サム)へ携帯コンテンツの供給を開始 |
| | 3月 | 株式会社CLON Labの第三者割当増資引受を決定 |
| | 3月 | 福岡ソフトバンクホークスマーケティング株式会社へ、動画メールソリューションを提供開始 |
| 2007年 | 12月 | ITギフト事業の新社として株式会社フィール・ジー(子会社)を設立 |
| | 6月 | 株式会社リクルートが運営する「Hot Pepper Pockets」のHTMLメール送信機能を共同開発 |
| | 3月 | 大阪証券取引所ヘラクレス市場に株式を上場 |
| 2006年 | 11月 | 株式会社リクルート事業開発室R&Dユニットとの間で、モバイル分野におけるHTMLメールを活用した商品開発に関する業務提携を行うことで合意 |
| | 9月 | 資本金を134,886千円に増資 |
| | 7月 | 港区麻布十番へ東京支店を移転 |
| | 4月 | 福岡市中央区大名へ本社を移転 |
| 2005年 | 6月 | 資本金を25,369千円に増資 |
| 2004年 | 9月 | 港区虎ノ門に東京事務所を新設(2006年4月支店昇格) |
| 2003年 | 9月 | 福岡市中央区高砂へ本社を移転 |
| 2001年 | 12月 | 株式会社に改組 |
| 2000年 | 6月 | 当社代表の永田が福岡県福岡市に有限会社アイフリークを設立 |

株式の状況

| | |
|----------|-----------------------------|
| 発行可能株式総数 | 90,840株 |
| 発行済株式の総数 | 22,722株 |
| 株主数 | 1,676名 |
| 上場証券取引所 | 大阪証券取引所ヘラクレス (コード番号3845) |

大株主

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|----------------------|----------|---------|
| | 持株数(株) | 出資比率(%) |
| 永田万里子 | 10,700 | 47.09 |
| RIP1号R&D投資組合 | 600 | 2.64 |
| 電通ドットコム第三号投資事業有限責任組合 | 600 | 2.64 |
| 高木勝 | 480 | 2.11 |
| 新島昌裕 | 439 | 1.93 |

株主メモ

| | |
|------------|--|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎事業年度終了後3ヶ月以内 |
| 配当金支払株主確定日 | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 |
| お問い合わせ先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 (証券代行部) 電話: 0120-232-711 受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00 |

INFORMATION



I*FREEK

<http://www.i-freek.co.jp/>

株式会社アイフリーク

本社
〒810-0041
福岡県福岡市中央区大名二丁目4番22号
新日本ビル4F
TEL: 092-738-3800(代)
03-5114-5650(Rお問い合わせ)
FAX: 092-738-3803
東京支店
〒106-0045
東京都港区麻布十番一丁目10番10号
ダヴィンチ・ジュールA 4F
TEL: 03-5114-0701(代)
FAX: 03-5114-0702



<http://www.feel-g.com/>

株式会社フィール・ジー

〒106-0045
東京都港区麻布十番一丁目10番10号
ダヴィンチ・ジュールA 4F
TEL: 03-5114-0562(代)
FAX: 03-5114-0563
設立: 2007年12月
事業内容: IT及びEコマースを活用した
ギフトサービス他
資本金: 8,000万円
株主: 株式会社アイフリーク 100%



<http://www.mediline.jp/>

株式会社日本インターシステム

〒170-0005
東京都豊島区南大塚2-45-8
日本生命大塚ビル 8F
TEL: 03-5940-7561
FAX: 03-5940-7562
設立: 2003年3月
事業内容: モバイルコマース構築・運営システム
のサービス提供他
化粧品・健康食品・健康器具の企画・
販売・卸売他
資本金: 2,000万円
主要株主: 株式会社アイフリーク 80.0%
竹中光宏 20.0%